平成１９年度　評価問題「ゆうチャレンジ」（熊本県学力調査）　中学校１年　数学　出題のねらい等

連番	大問	中問	小問	領域及び学年	学習指導要領の内容	出題のねらい	観点			
							数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な表現・処理	数量，図形などについての知識・理解
①	1	(1)		数と計算６年	A(2)ウ　異分母分数の減法	通分して，異分母分数の減法ができること。			○	
②		(2)		数と式　１年	A(1)イ　正の数と負の数の四則計算	負の数の２乗の計算の意味を理解していること。				○
③		(3)		数と式　１年	A(1)イ　正の数と負の数の四則計算	正の数と負の数の加法の意味を理解していること。				○
④		(4)		数と式　１年	A(1)イ　正の数と負の数の四則計算	正の数と負の数の乗法の意味を理解していること。				○
⑤		(5)		数と式　１年	A(2)ウ　一次式の加法と減法	文字の項と数の項をそれぞれまとめて簡単にすることができること。			○	
⑥		(6)		数と式　１年	A(2)ウ　一次式の加法と減法	分配法則を使って，数と一次式の乗法ができること。			○	
⑦	2	(1)		数と式　１年	A(2)ア　式の値	文字式に正の分数を代入して，式の値を求めることができること。			○	
⑧		(2)		数と式　１年	A(1)イ　正の数と負の数の四則計算	正負の数の四則計算の式を作ろうとすること。	○			
⑨		(3)		数と式　１年	A(2)ア　文字を用いることの意義	日常生活に関連させ，文字式に適する具体的な場面を表そうとすること。	○			
⑩	3	(1)		数と式　１年	A(3)イ　等式の性質	一元一次方程式を解く過程において，等式の性質を理解していること。				○
⑪		(2)		数と式　１年	A(3)ウ　一次方程式を解くこと	一元一次方程式を解くことができること。			○	
⑫		(3)		数と式　１年	A(3)ウ　一次方程式の利用	具体的な問題を解決するために，方程式を利用して考えることができること。		○		
⑬	4	(1)		数量関係６年	D(2)ア　比例の表	伴って変わる２つの数量から比例の関係に気付き，対応する値を考えることができること。		○		
⑭		(2)		数量関係６年	D(2)ア　比例のグラフ	比例の関係をグラフに表すことができること。			○	
⑮		(3)		数量関係６年	D(2)ア　比例の関係	比例の関係を用いて，具体的な数に対応する値を考えることができること。		○		
⑯	5	(1)		図形　６年	C(1)ア　立方体の展開図	立方体の展開図から面と面とのつながりを考えることができること。		○		
⑰		(2)		量と測定６年	B(2)ウ　立方体，直方体の体積	立方体や直方体の体積の求め方を利用して，立体図形の体積の求め方を考えることができること。		○		
⑱	6	(1)		数と式　１年	A(2)ア　文字を用いることの意義	与えられた考え方を使って，具体的な事象の数量を求めることができること。			○	
⑲		(2)		数と式　１年	A(2)ア　文字を用いることの意義	数量の関係を文字を用いて式に表わすことができること。			○	
⑳		(3)		数と式　１年	A(2)ア　文字を用いることの意義	具体的な事象の数量を，文字を用いて一般的に考えることができること。		○		